

電気工学専攻の立澤圭輔さんが 電子情報通信学会平成 28 年度電磁界理論研究会で 「学生優秀発表賞」を受賞しました。

2017 年 3 月 22 日に名城大学で行われた電子情報通信学会平成 28 年度電磁界理論研究会の表彰式にて、電気工学専攻博士前期課程の立澤圭輔さんが「学生優秀発表賞」を受賞しました。

受賞の対象論文は、電子情報通信学会技術研究報告で発表された以下の論文です。

論文名：高密度光直接記録に向けたナノアンテナの性能評価
～加工ずれに対してロバスト性を有する形状～

本研究では、現行の磁気記録に比べて最大で十万倍記録が速くなる光直接記録方式において、記録安定性の高いプラズモニックアンテナの設計を目的としています。本発表では、アンテナの加工精度と記録に使用する円偏光の関係を検討し、加工による誤差の影響が少ないアンテナ形状について報告しました。

これらの成果の一部は、文部科学省「戦略的研究基盤形成支援事業(代表：電子工学科 塚本 新 教授)」の支援を受けて実施されました。

